

Hot Potatoes を使用した韓国語学習問題の作成報告

平 香織
神田外語大学

1. はじめに

さまざまな情報機器の発達により、語学学習の方法は多様化している。コンピュータが普及した現在、インターネットに接続さえしていれば、時と場所を選ばずに学習できる環境を整備することは、学習者の意欲や能力の向上を考えても非常に望ましいことと言える。

実際に ICT (Information and Communication Technology)を活用した e-learning を導入している大学が増えてきている。韓国語に関して言えば、東京外国語大学の TUFS モジュール、大阪大学の高度外国語教育独習コンテンツ、福岡大学の한글마당、同志社大学の油谷幸利教授のサイトなどで一般に公開されている。また、曹(2008)によって九州大学における WebOCM を使用した朝鮮語の e-learning の取り組みが報告されており、盧・梁(2012)では立命館大学の朝鮮語 CALL に関する報告がなされている。さらに、大学だけでなく高校における韓国語学習に e-learning が使用されている事例についての報告もある(山崎 2011)。

本稿は、Hot Potatoes を使った韓国語学習の問題作成に関する報告である。問題作成の過程や工夫、問題点をあげつつ、今後、専攻語の学生だけでなく、第 2 外国語として韓国語を履修している学生に対してもどのような問題が提供可能か併せて示していく。

2. 取り組みの背景

2009 年から多言語コミュニケーションセンター (MULC: Multilingual communication center) が中心となって、英語・日本語以外の語学学習における e-learning の可能性とあり方に関する勉強会が行われ、その中で、学内で既に行われている Moodle を使用したタイ語の授業が紹介された。それが契機となり Moodle の活用方法に関する意見交換会が度々実施してきた。

e-learning は工夫次第でさまざまな内容を盛り込むことができるが、授業に e-learning を使用する場合には、どの程度 e-learning を授業に組み込むかをあらかじめ決めておく必要があるだろう。学習目的に応じて以下のような使用が考えられる。

- (1) 対面授業の一部に e-learning を組み込む方法
- (2) 対面授業の全てを e-learning で構成する方法
- (3) 授業以外の学習にのみ e-learning を使用する方法
- (4) 対面授業を行わずに e-learning のみで授業を行う方法

(5) 対面授業（の一部）と授業以外の学習の両面で e-learning を使用する方法

外国語の授業には文法項目などの習得に重きを置いた語学中心の授業と、語学だけでなく視聴覚教材を用いて、その国の文化などを紹介しながら進める授業があり得る。語学学習に比重を置いた授業の場合、既習言語では(4)のような授業も可能であろうが、初習言語では対面授業の補完的な役割として e-learning を使用するのが現実的である。なお、(2)については、突発的な機器の不具合や学生のコンピュータ操作の慣れの問題、課題を解くのに要する学生ごとの時間差の問題が指摘されている(平 2007, 盧・梁 2012)。

さらに、語学学習と言っても専攻語としての学習か、第 2 外国語としての学習かによって e-learning の活用方法は大きく変わる。例えば、神田外語大学韓国語学科¹⁾1・2 年生が受講する韓国語の必修科目は 1 週間に 6 コマであり、その内訳は 1 年生が文法 3 コマ、会話 2 コマ、作文 1 コマ、2 年生が講読 3 コマ、会話 2 コマ、作文 1 コマである。それに対し、第 2 外国語としての韓国語の授業は週 2 コマであり、授業時間数は韓国語を専攻としている学生の 3 分の 1 である。このような状況を考えれば、第 2 外国語として受講している学生に対して、韓国語に触れる時間を増やし、理解を定着させる目的で、e-learning を使用した自学自習の環境を提供する方が望ましいであろう。

一方で、問題作成の観点から見ると、韓国語の学習時間が長い韓国語専攻の学生がどのようなところでつまずき、何を難しいと感じるかを把握した後で、第 2 外国語の学生向けの練習問題を作成した方が、より段階を踏んだ細かな問題を作成できるという長所がある。筆者は問題作成を重視し、2010 年に専攻語として学習している韓国語学科の 1 年生を対象として、授業以外での学習を目的とした練習問題を試験的に作成した。問題は、文法 3 コマ中、2 コマで使用している教科書『朝鮮語の入門 改訂版』に準拠した内容とした。使用したソフトは Moodle 上で動く Hot Potatoes である²⁾。Hot Potatoes とは登録制のソフトウェアであり、JCloze (穴埋め問題), JMatch (マッチング問題), JMIX (並べ替え問題), JCross (クロスワード), JQuiz (選択問題), The Masher (複合問題) という 6 種類の問題が作成できる。

3. 問題作成

韓国語を専攻とする 1 年生が 1 学期間で学習する項目のうち、主だった基本項目を取り上げて練習問題を作成した。問題内容と問題形式は以下のとおりである。Hot Potatoes の問題形式は 6 つあるが、クロスワードと複合問題以外の 4 つを使用した。

表 1. 問題内容と問題形式

| トピック | 問題タイトル | 問題形式 |
|----------|--------------|------|
| 1. 文字と発音 | 音声問題 | 選択問題 |
| | 発音の変化(1),(2) | 選択問題 |

| | | |
|----------------------------|-----------------|---------|
| 2. 基本形と上称形 | 基本形と上称形(1),(2) | マッチング問題 |
| 3. 助詞・否定 | 助詞・否定(1),(2) | 穴埋め問題 |
| 4. 語基と様々な表現(1) | 第Ⅰ語基, 第Ⅱ語基 | 穴埋め問題 |
| | 様々な表現(1) | 穴埋め問題 |
| 5. 過去形(1)と 様々な表現(2) | 過去形(1) | 穴埋め問題 |
| | 様々な表現(2) | 穴埋め問題 |
| 6. 尊敬形・過去形(2)と 様々な文法的形式 | 尊敬形 | 穴埋め問題 |
| | 過去形(2)・尊敬の命令形 | 穴埋め問題 |
| | 様々な文法的形式(1),(2) | 並べ替え問題 |
| 7. 過去形(3)・ 母音語幹の過去形 | 過去形(3) | 穴埋め問題 |
| | 母音語幹の過去形(1),(2) | マッチング問題 |

2010年時点では、教員が指定した学生のみが Moodle にログイン可能であり、各教員が学生の ID とパスワードの発行を大学内のメディア教育センターに依頼する手続きをとっていた³⁾。「韓国語基礎 I」コースにログインを許可する学生（ここでは、韓国語学科 1 年生）の ID とパスワードが発行された段階で、学生にはログインの仕方に関するプリント（図 1-1）を配布した。

韓国語学科のコースに入ると、図 1-2 のような画面が現れる。下にスクロールしていくと、表 1 に示したトピックと問題タイトルが現れる。問題タイトルの「音声問題」や「発音の変化(1)」をクリックすると問題のページに移動する。

3.1 からは問題形式に沿って、実際にどのような韓国語の練習問題を作成したかについて紹介する。

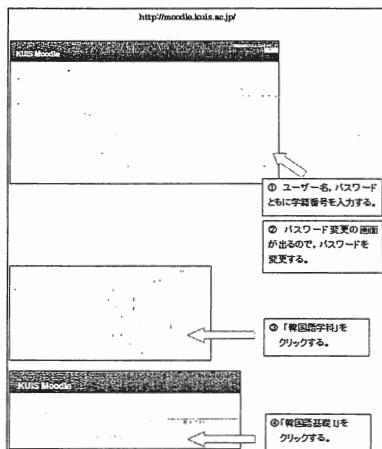


図 1-1. ログインの仕方

図 1-2. ログイン後の画面

3.1 選択問題

「1. 文字と発音」では「音声問題」と「発音の変化」に関する問題を選択形式で作成した。選択形式とした理由はコンピュータでハングルを入力できない学生が多いためである。

まず「音声問題」について説明する。日本語を母語とする韓国語学習者にとって韓国語の平音、激音、濃音と終声（特に口, し, い）の発音及び、聞き取りが難しい。発音と聞き取りの両面を強化できる問題を作成できるのが望ましいが、Hot Potatoesでは学習者が発音をし、それが正しいかどうかを判断するための問題を作るのは不可能である。そのため、習得が難しいとされる上記の項目を入れた単語を使って正しく発音されているものを選ぶ聞き取り問題を作成した。

作成の手順を図2に沿って見ていく。まず、Titleに問題タイトルを入力する。Titleに入力したものが、学生がクリックするファイル名となる（図2-2参照）。これはすべての問題形式で共通である。次に、左側のAnswersの欄に選択肢を入れ、正解には右端にあるCorrectにチェックを入れる。中央にあるFeedbackには学生の答えに対してのコメントが入力できる。ここでは不正解の場合、発音された単語の意味が表示されるようにした。

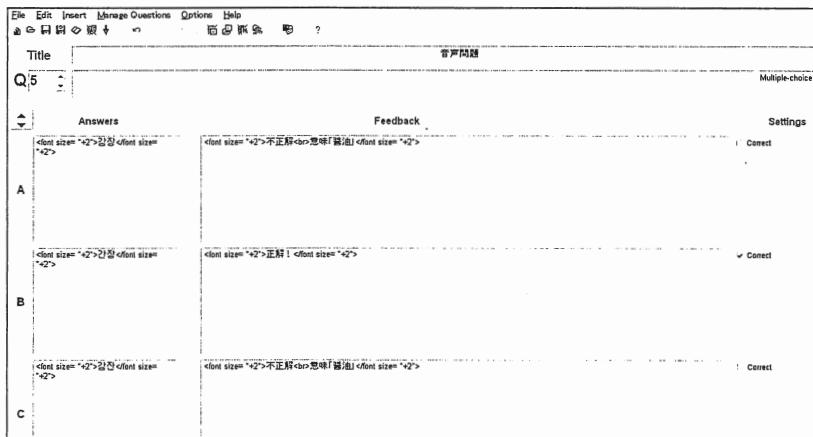


図2-1. 音声問題の作成

タイトルの下の欄（図2-2 丸印）にカーソルを置いた状態でInsertに入り Media Objectを選択し、あらかじめ準備しておいた音声ファイルを選択する（図2-3）。

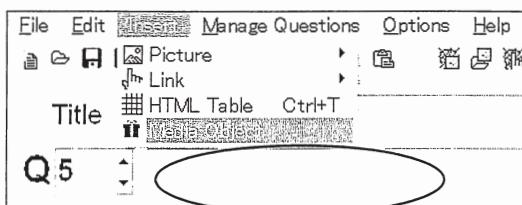


図2-2. 音声ファイルの挿入方法1

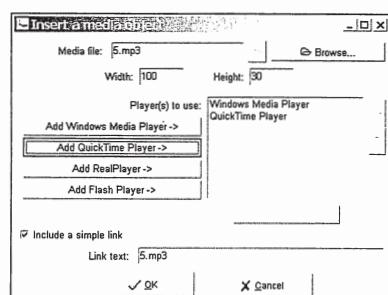


図2-3. 音声ファイルの挿入方法2

図 2-4 の円で囲んだ箇所（以下、configuration file とする）をクリックし、設問や解答の際の注意事項を入力する。また問題が表示される画面の背景色や解答の制限時間も設定することもできる。他の問題形式もほぼ同じ構成である。

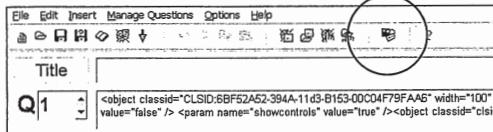


図 2-4. 解答の指示等の設定 1



図 2-5. 解答の指示等の設定 2

Hot Potatoes の保存は、Hot Potatoes 独自の形式（図 2-6 実線の円）と、HTML 形式（図 2-6 点線の円）の 2 つで行う。問題の修正は Hot Potatoes の形式で保存したファイルで行い、Moodle にアップロードするのは HTML 形式のファイルである。HTML タグを入れることで改行やセンタリング、文字色や文字サイズを変更することができる。ハングルに慣れていない学生は、例えば‘흔’と‘흔’を見間違えることがしばしばあるため、今回作成したものはタグを入れて全て文字を大きくした。

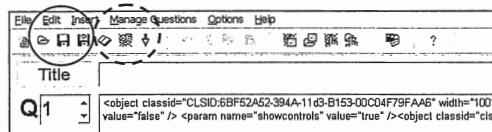


図 2-6. 作成した問題の保存

上記の作業を終えて、Moodle にファイルをアップロードし、図 1-2 で見た問題タイトルの「音声問題」をクリックすると以下の画面となる。

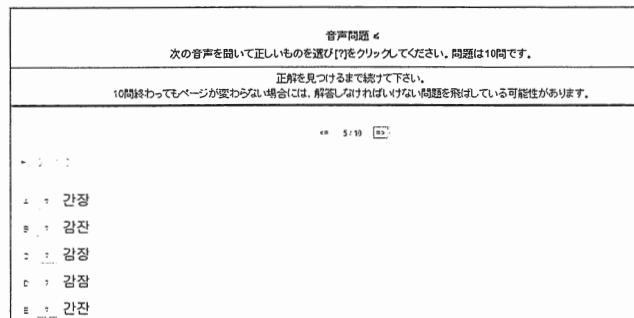


図 2-7. 音声問題画面

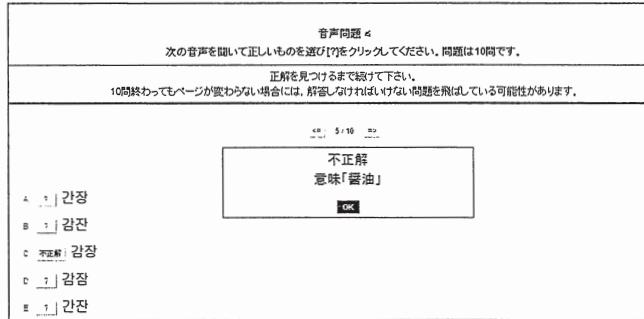


図 2-8. 音声問題フィードバック画面

図 2-7, 2-8 の問題は、韓国語を専攻としている学生を対象としているため、Moodle を使用する段階で既に文字を覚えていることを前提としている。第 2 外国語として韓国語を履修している学生を対象とする場合には、文字を正確に覚えているかを確認するために、図 2-9 のような音声問題を提供することもできる。

図 2-9. 文字の理解を確認する音声問題

次は「発音の変化」である。問題数はそれぞれ 15 問とし、制限時間(8 分)を設けた。問題は何回も繰り返して解けるようにランダムに表示されるようにした。

「発音の変化(1)」には口音の鼻音化、ㄴの流音化、流音の鼻音化、口音+さによる激音化、終声さ+子音、用言語尾の頭音の発音、ㅓ, ㅕ終声字の問題を入れた。「発音の変化(2)」には 2 文字終声字、口蓋音化、単語結合・合成語における子音の発音、リエーザン、体言+깃の濃音化を入れている。なお、「発音の変化(1),(2)」で出題した順番は『朝鮮語の入門 改訂版』の学習順序に沿っている。

「発音の変化」でも、学習者の答えに対するコメントを入れた。例えば、図 3-1 のように 옛날の発音として間違った[옌날]を選択すると、ヒントが表示されるようにし、正解した場合は図 3-2 のように表示されるようにした。

児童の文化百科

次の語句の正しい読み方を？をクリックして選びなさい。時間は15秒あります。制限時間は4分です。

[15]

(正確に読めない場合、お手伝いボタンを押す)→誤答でなければ、
15秒終わってページが変わらない場合は、お手伝いボタンを押す)→正解を示している可能性があります。

□.しの前の終音は、じには？

[?]

옛날

- . [에날]
- . [엔날]
- . [암날]

図 3-1. 誤答に対するコメント

次の単語の正しい読み方を？をクリックして選びなさい。問題は15問あります。お時間は10分です。

Questions completed so far 1/15

• 15 •

よくできました。

□

옛날

- [에날]
- [엔날]
- [얼날]

図 3-2. 正答に対するコメント

韓国語は発音の変化の項目が多く、学習する上で高い壁となっている。どれを先に学習するかは教科書によって異なるので、使用している教材に従って問題の順番を入れ替えていけばよいだろう。

3.2 マッチング問題

マッチング問題を使って、「2. 基本形と上称形」の問題と「7. 過去形(3)・母音語幹の過去形」のうち「母音語幹の過去形」に関する問題を作成した。

まず、「基本形と上称形」について説明する。基本形とは辞書に記載されている形のことである。日本で行われている韓国語教育では一般的に韓国語の用言を動詞・形容詞・存在詞(있다 「いる・ある」, 없다 「いない・ない」)・指定詞(-이다 「～である」, 아니다 「違う」)の4つに分類するのだが、この用言の基本形はすべて-다で終わる(例: 먹다 「食べる」, 크다 「大きい」, 있다 「いる・ある」, -이다 「～である」)。一方、上称形とは日本語の丁寧体「です・ます」に相当するもので⁴⁾、用言の語幹が母音もしくはㄹで終わる場合には-ㅂ니다が付き、子音で終わる場合には-습니다が付く(例: 먹습니다 「食べます」, 떠니다 「遠いです」 [基本形: 멀다], 큽니다 「大きいです」)。基本形から上称形を作る際、ㄹ語幹の上称形を “*알습니다”, “*길습니다” のように誤るケースがよく見られる。

では、作成の手順を図 4 に沿って説明する。左にある Left (ordered) items に問題を入力し、右側の Right (jumbled) items にそれぞれの答えを入力する。設問よりも選択肢を多くする場合には、左端の Title 下にある矢印をクリックして Right (jumbled) items に選択肢を入力する。マッチング問題の解答方法はプルダウン式か、ドラッグ式かのどちらかを選択できる。HTML 形式で保存する際に左側を選択するとプルダウン式の問題となり、右側を選択するとドラッグ式の問題となる(図 4-1 右上拡大図参照)。

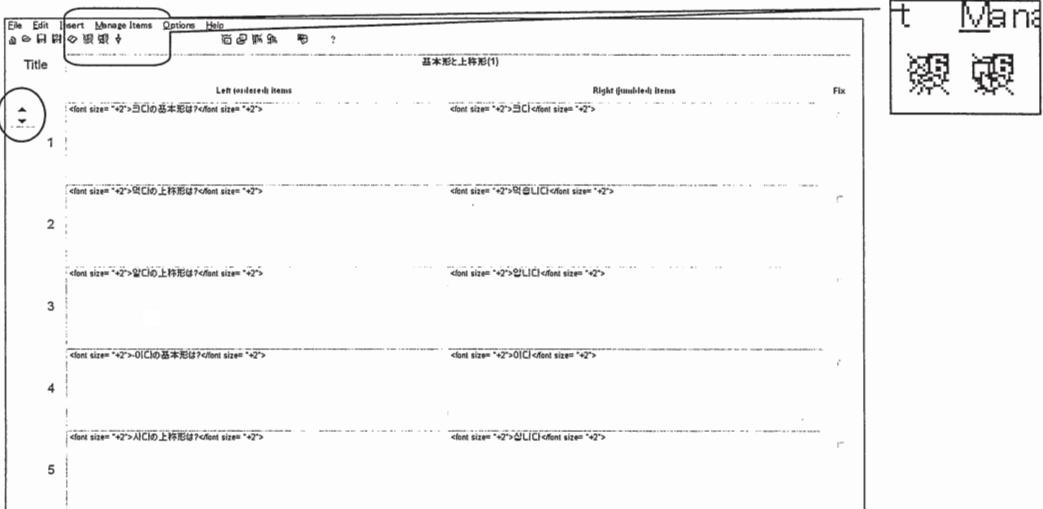


図 4-1. マッチング問題

今回はドラッグ式とし、設問 5 つに対して 9 つの選択肢を与え、制限時間を 2 分とした。

| [123] | |
|---|---|
| 答え終えたらcheckボタンを押して下さい。 間違っても制限時間まで何度も挑戦してください。 | |
| <input type="button" value="Check"/> | |
| 알다의 上称形は? | 漢字 <input type="text" value="漢字"/> |
| 먹다의 上称形は? | 습니다 <input type="text" value="습니다"/> |
| -이 다的基本形は? | 입니다 <input type="text" value="입니다"/> |
| 사다의 上称形は? | 세요 <input type="text" value="세요"/> |
| 크다의 基本形は? | 涨狀 <input type="text" value="涨狀"/> |
| <input type="button" value="Check"/> | |

図 4-2. プルダウン式

| [123] | |
|---|---|
| 基本形と上称形(1) ■ 他の同じに因るものをから選んでクリックしない。制限時間は2分です。 <input type="button" value="Check"/> | |
| 答えたたらcheckボタンを押して下さい。 間違っても制限時間まで何度も挑戦してください。 | |
| <input type="button" value="Check"/> | |
| 먹다의 上称形は? | 릅니다 <input type="text" value="릅니다"/> |
| 일다의 上称形は? | 알습니다 <input type="text" value="알습니다"/> |
| 사다의 上称形は? | 먹습니다 <input type="text" value="먹습니다"/> |
| -이 다的基本形は? | 드립니다 <input type="text" value="드립니다"/> |
| 크다의 基本形は? | 입니다 <input type="text" value="입니다"/> |
| <input type="button" value="Check"/> | |

図 4-3. ドラッグ式

同様の形式で母音語幹の過去形について問題を作った。韓国語の母音字は 21 個（基本母音字 10 個、合成母音字 11 個）存在するが、母音語幹として使用されるのは 12 個である。12 個とは言うものの陽母音同士の結合、陰母音同士の結合を理解できれば、合成母音字の 5 つ ॥, ㅏ, ㅓ, ㅗ, ㅜ + 어는 1 通りともカウントできるので、計 8 通りのルールを覚えればよい。実際、学生にとって 8 通りのルールを覚えるのも大変であるため、ゲーム感覚で取り組めるマッチング形式を使った。



図 4-4. 母音語幹の過去形(ドラッグ式)

マッチング形式はゲーム感覚で問題に取り組めるため学生にとって負担は少ないが、理解度を把握するには不十分である。ここで出した問題は形を変えて、穴埋め形式で提示し、ハングルを直接入力した結果を見ることで学生の理解の定着度を測る必要がある。

3.3 穴埋め問題

「3. 助詞・否定」からは穴埋め形式で問題を作成した。穴埋め形式の問題は学生が直接キーボード入力をして解答しなければならない。韓国語初習者の中にはコンピュータを使ってハングルを入力する方法がわからない学生が多いため、ハングルを打つためのコンピュータの環境設定やハングルキーボードの配列の情報を Moodle 上で参照できるようにしておいた。

図 5. ハングル入力に関するファイルの配布

前に示した表 1 から分かるように、穴埋め形式を使用した問題が最も多い。その理由は、ハングルの書き間違いや分かち書きを確認する目的からである。

図 5 に沿って穴埋め問題の作成方法を見ていく。まず、提示する文を入力する。次に穴埋めにしたい箇所を選択し、入力画面下にある Gap ボタンを押す。そうすると図 5-1 のように、穴埋めにしたい文字が下線とイタリックで表示される。

図 5-1. 穴埋め問題の作成

なお、Gap ボタンを押した時に出る画面(図 5-2)で、Clue にヒントを入力し、configuration file の[Buttons]に入り、図 5-3 に示した箇所にチェックを入れれば問題ごとのヒントを表示できる。

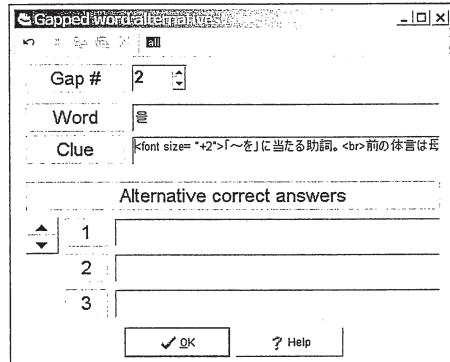


図 5-2. ヒントの設定 1

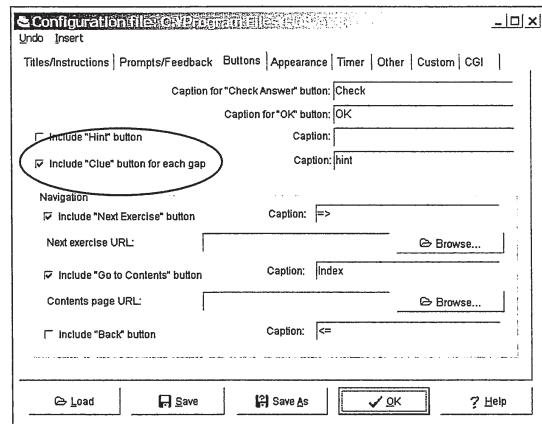


図 5-3. ヒントの設定 2

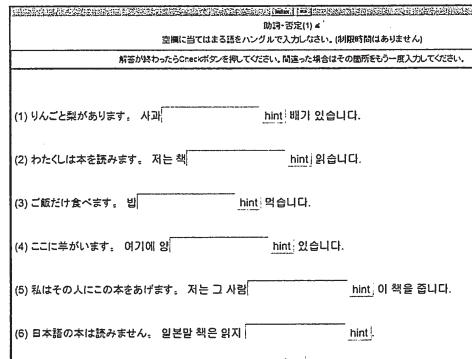


図 5-4. 穴埋め問題(ヒントあり)

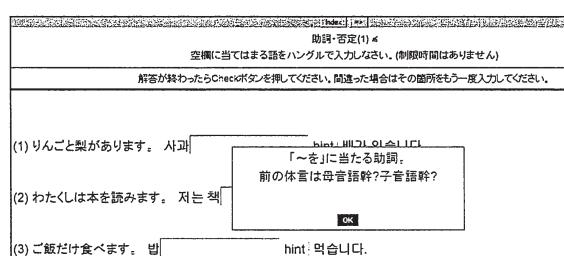


図 5-5. 穴埋め問題(ヒント表示)

ヒントの要、不要は学生によって異なるため、できれば両方の問題を作つておくことが望ましいだろう。そして、学生がどちらの問題を解き、正答率がどの程度であったかを確認することで、学生の理解度の把握が可能となる。

なお、穴埋め形式は図 5-6、5-7 のように尊敬形や過去形の作り方の練習にも使用した。

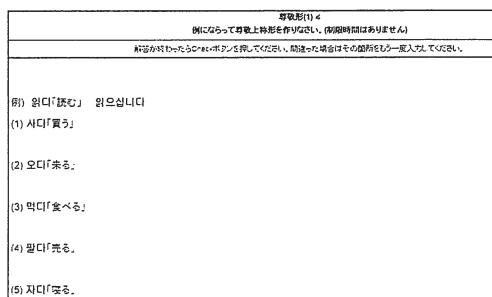


図 5-6. 尊敬形の練習問題

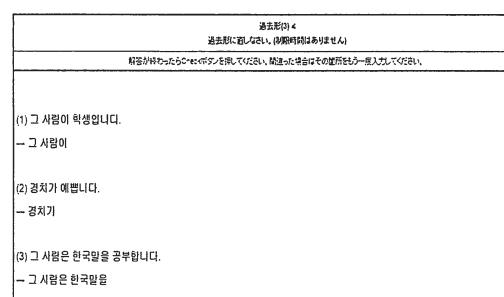


図 5-7. 過去形の練習問題

3.4 並べ替え問題

最後に並べ替え問題をあげる。並べ替え問題は「6. 尊敬形・過去形(2)と様々な文法的形式」のうち「様々な文法的形式」の練習問題に使った。

左側の Main sentence に並べ替えに必要な単語を入力し、右側の Alternate sentences に正解を入力する。並べ替え問題はマッチング問題と同様に解答方法を選択できる。左側で保存するとクリック式、右側で保存するとドラッグ式となる。なお、今回はドラッグ式とした。

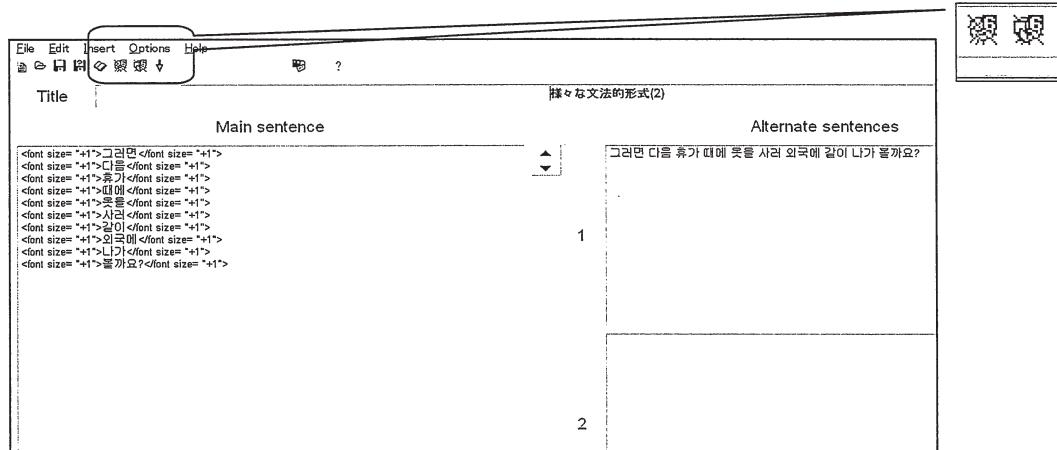


図 6-1. 並べ替え問題

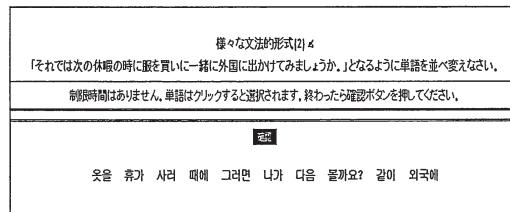


図 6-2. 並べ替え問題(クリック式)

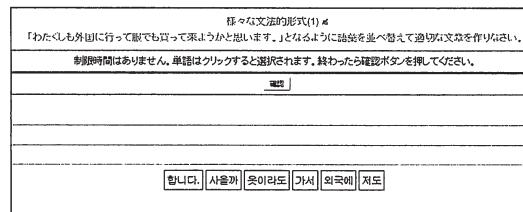


図 6-3. 並べ替え問題(ドラッグ式)

韓国語は日本語と語順がほとんど同じであるため、図 6-2, 6-3 のような単に単語を並べ替えて文を作る問題はそれほど有益でないようである。副詞の位置が日本語と異なる文や、分析的な形式⁵⁾を覚えるための練習など、問題作成に工夫が必要である。

4. おわりに

本稿では、2010 年に Hot Potatoes で作成した韓国語学科 1 年生のための練習問題について紹介した。韓国語に関する e-learning 教材が少なく、どのレベルの学生に対してどのような問題を提供することが有益であるかなど、まだ明らかになっていないことが多い。今回の取り組みはまだ着手したばかりで問題数も少なく、問題内容も精査していかなければならない。今後、学生の取り組み状況や e-learning に対するアンケート調査などを実施し、報告をしていきたいと考える。

【謝辞】

本稿を修正するにあたり、神田外語大学多言語コミュニケーションセンターの倉館健一先生より貴重なご意見を賜りました。ここに記して感謝申し上げます。

《註》

- ① 2012年4月から韓国語学科はアジア言語学科韓国語専攻に改編された。
- ② 当初、Moodle の小テスト機能を使用して問題を作成していたが、それよりも簡単に問題作成が可能な Hot Potatoes に移行した。Hot Potatoes は <http://hotpot.uvic.ca/index.php> からダウンロードできる。ソフトの使用方法については国際交流基金の日本語教育通信 (<http://www.jpf.go.jp/j/japanese/survey/tsushin/bn/6-015.html>) やフランス語学習に Hot Potatoes を利用したホームページ (<http://skomatsu.free.fr/HotPotguide/>)、三重大学の「Moodle ハンズオンワークショップ Hot Pot モジュール」(<https://portal.mie-u.ac.jp/moodletext/hotpot.doc>) に詳しい説明がある（最終アクセス：2012年5月）。
- ③ 2012年入学者から、すべての学生に対し Moodle にログイン可能な ID とパスワードが発行されるようになった。コースへの学生の登録は、メディア教育センターから教員へコースキーが割り当てられ（教員が自分で設定することも可能）、教員がコースに登録させたい学生にそのコースキーを伝えるという手続きをとっている。
- ④ 韓国語には日本語の丁寧体にあたる形として、格式体である上称形と非格式体である略待上称形の2つがある。
- ⑤ 菅野(1991)は、1単語内のいろいろな文法的な形（語幹+接尾辞+語尾）を総合的な形と呼び、補助的な単語を含む2単語以上からなる文法的な形を分析的な形と呼んでいる。そして、韓国語は分析的な形が豊富な言語であると述べている。

《参考文献》

- 菅野裕臣(1991)「文法概説」早川嘉春,志部昭平,野間秀樹,塩田今日子,伊藤英人(編)『コスマス朝和辞典 第2版』p.1008-p.1048. 白水社
- 菅野裕臣著、権容環・浜之上幸改訂(2007)『朝鮮語の入門 改訂版』白水社
- 曹美庚(2008)「e-Learningシステムを活用した自律学習環境づくりの試み：韓国語学習における実践を中心」『大学教育』第14号. p.43-p.59. 九州大学高等教育開発推進センター
- 平香織(2007)「韓国語CALL教材に関する報告」『総合学術研究紀要』第11巻 第1号. p.17-p.28. 沖縄国際大学総合学術学会
- 山崎吉朗(2011)「多言語 e ラーニングの普及と有効性検証 ー英語以外の外国語教育の推進をめざしてー」『e-Learning 教育研究』第6巻. p.57-p.67. e-Learning 教育学会
- 盧載玉・梁貞模(2012)「朝鮮語教育におけるCALL の現状と課題ー立命館大学の朝鮮語CALLを中心にー」『立命館高等教育研究』第12号. p.127-p.143. 立命館大学教育開発推進機構

Hot Potatoes 를 사용한 한국어 연습 문제 작성에 관한 보고서

타이라 카오리
간다외어대학

본고는 Hot Potatoes 를 사용하여 간다외어대학 한국어학과 1 학년 학생을 대상으로 한 초급 단계의 연습 문제를 어떻게 작성하였는지를 보고한 것이다.

문제는 (i)선택 형식, (ii)매칭(matching) 형식, (iii)빈칸 메우기 형식, (iv)배열 형식의 4 가지 형식을 사용하여 작성하였다.

우선 단어 듣기와 발음 변화에 관한 연습 문제를 선택 형식으로 만들어 제시하였다. 단어 듣기 문제는 음성으로 단어를 제시하여 그에 맞는 것을 선택하도록 하였는데, 일본인 학습자가 어려워하는 받침(특히 ㄴ,ㅁ,ㅇ)이나 평음, 격음, 경음의 구별에 관한 문제를 중심으로 작성하였다.

기본형에서 합성체를 만드는 문제와 모음 어간으로 끝나는 동사와 형용사를 과거형으로 만드는 문제는 매칭 형식으로 제시하였다.

가장 많이 사용한 형식은 빈칸 메우기 형식이다. 이 형식은 학습자가 한글을 직접 입력해야 하므로 철자나 띄어쓰기를 올바르게 지키고 있는지를 확인하거나 받침의 유무에 따라 조사를 적절히 사용하고 있는지를 확인하는데 도움이 된다.

마지막으로, 배열 형식은 제시된 단어의 순서를 적절히 바꾸어 올바른 문장을 완성하는 문제를 작성하는 데 사용하였다. 배열 형식 문제는 분석적인 형식을 학습하거나 일본어와 차이점을 보이는 부사의 위치를 학습할 때 유용하다고 생각된다.